

能登半島地震における保健師活動からの学び

「県・市町村合同チーム活動報告」

神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課

副課長 統括保健師 小野 聡枝



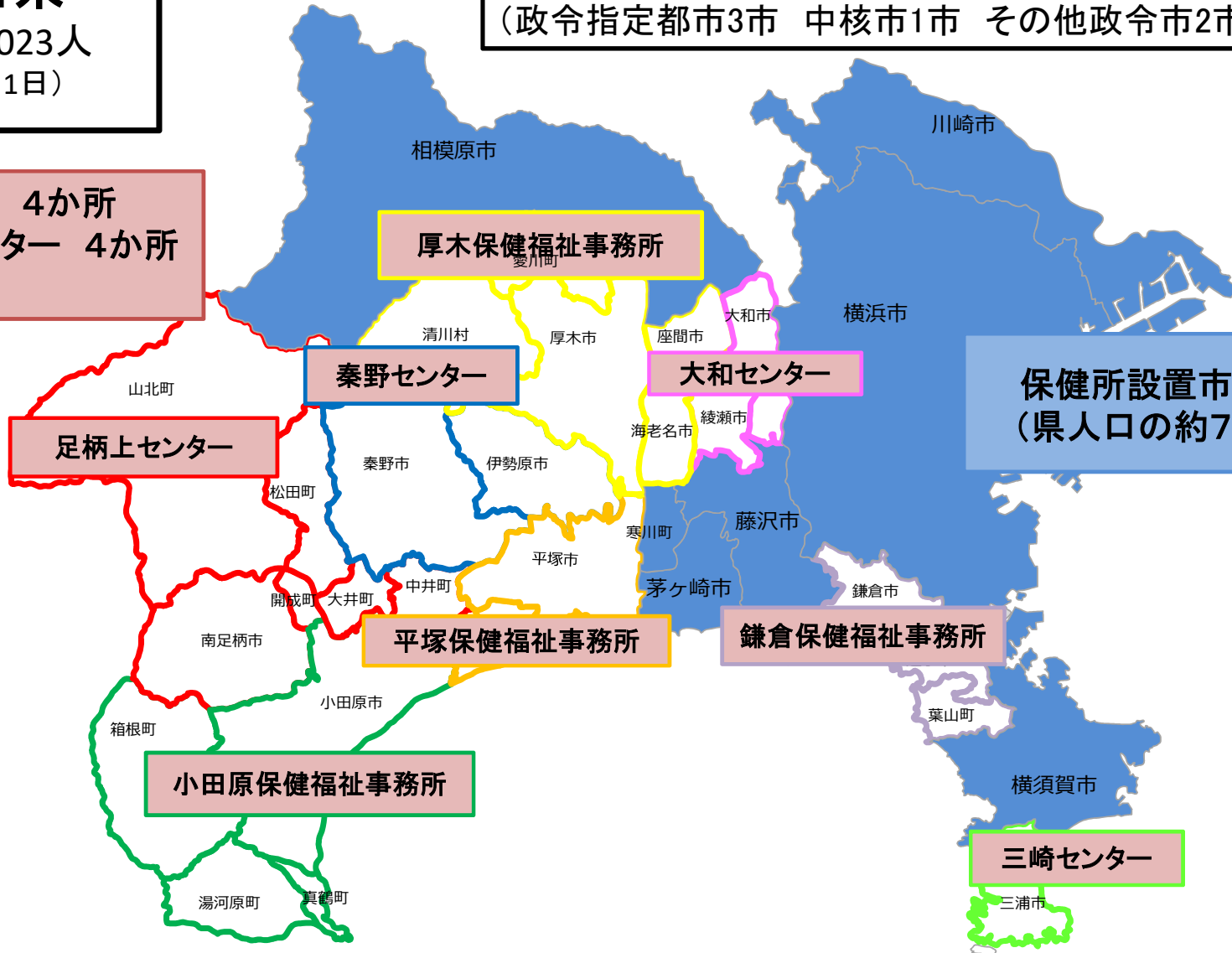
神奈川県

人口9,231,023人
(2024年6月1日)

33市町村

(政令指定都市3市 中核市1市 その他政令市2市 13市13町1村)

保健福祉事務所 4か所
保健福祉事務所センター 4か所
計8か所



保健所設置市 6市
(県人口の約7割強)

神奈川県保健師チーム派遣の経過（概要）

日にち	経過
1月1日	令和6年能登半島地震に発生
1月4日	厚生労働省から保健師等の応援派遣可否に関する照会
1月6日～2月29日	石川県珠洲市に派遣 ①横浜市チーム ②県及び保健所設置市合同チーム（Aチーム）
1月14日	厚生労働省から保健師等の追加応援派遣可否に関する照会
1月21日～3月31日	石川県珠洲市に派遣(追加) ③県及び県域市町村職員混合チーム（Bチーム）
2月15日	厚生労働省より保健師等の追加応援派遣に関する照会
3月1日～3月31日	珠洲市に派遣(延長) ①横浜市チーム ②保健所設置市合同チーム（Aチーム）
3月18日	厚生労働省より保健師等の追加応援派遣に関する照会
4月1日～4月30日	珠洲市に派遣（延長） ②県及び保健所設置市合同チーム（Aチーム）

①横浜市チーム

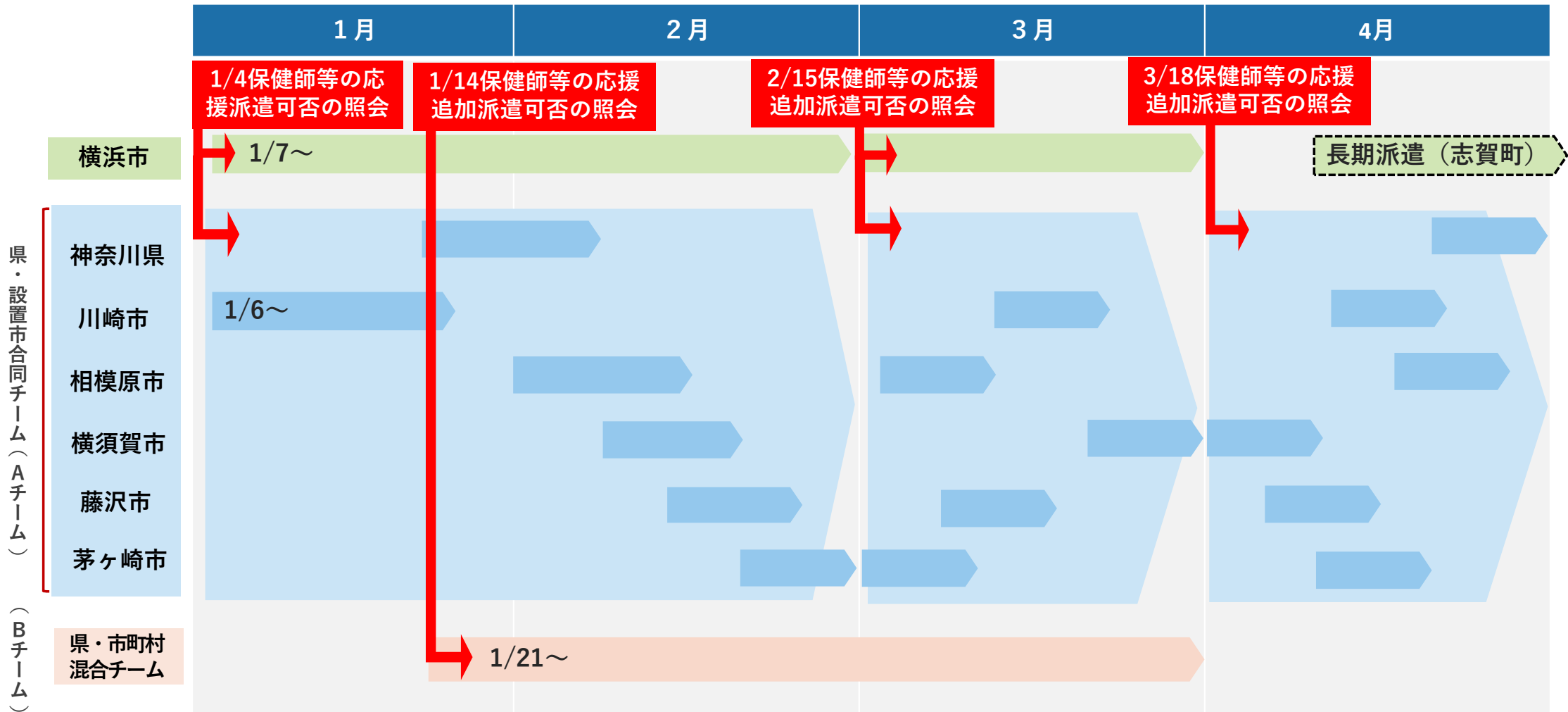
②県及び保健所設置市合同チーム（Aチーム）

川崎市チーム⇒県チーム⇒相模原市チーム⇒横須賀市チーム⇒藤沢市チーム⇒茅ヶ崎市チーム

③県及び県域市町村職員混合チーム（Bチーム）

県混合チーム（県保健師、県域市町村保健師、県ロジ）

神奈川県保健師チーム派遣の経過（月別図）



初動から派遣決定（1月1日～1月4日）①

日にち	時間	厚生労働省	県／統括保健師の動き
1月1日	16：10	石川県能登地方において最大震度7の地震発生	
	16：50		<p>統括保健師→本庁保健師主管課（以下、健康増進課）保健師（LINE） 災害派遣情報システムを注視することの確認、クロノロの指示</p> <p>統括保健師→健康増進課長、総務室、医療危機対策本部室感染症対策担当部長、県保健福祉事務所センター保健師所長（以下、センター所長）・地域統括保健師（LINE、ロゴチャットなど） 今後、保健師派遣要請の可能性のある旨の連絡</p>
	18：36		<p>統括保健師→保健所設置市統括保健師（LINE） 現状、今後の情報共有について連絡</p>
1月2日	終日		情報収集

初動から派遣決定（1月1日～1月4日）②

日にち	時間	厚生労働省	県／統括保健師の動き
1月3日	15:40	厚生労働省⇒都道府県 「（事務連絡）令和6年能登半島地震にかかるDHEATの派遣可否について」	
			総務室→健康医療局幹部に派遣可否の事務連絡を共有（ロゴチャット）
	18:00		県庁出勤、DHEAT派遣調整（総務室、医療危機対策本部室感染症対策担当部長、統括保健師）
	20:42	厚生労働省⇒都道府県 「（事務連絡）令和6年能登半島地震にかかる保健師等の応援派遣可否について」	
			総務室→健康医療局幹部に派遣可否の事務連絡を共有（ロゴチャット）
	20:54		統括保健師→センター所長・地域統括保健師 （LINE） 派遣可否の事務連絡を共有
21:35		統括保健師→保健所設置市統括保健師 （LINE） 派遣可否の事務連絡を共有	

初動から派遣決定（1月1日～1月4日）③

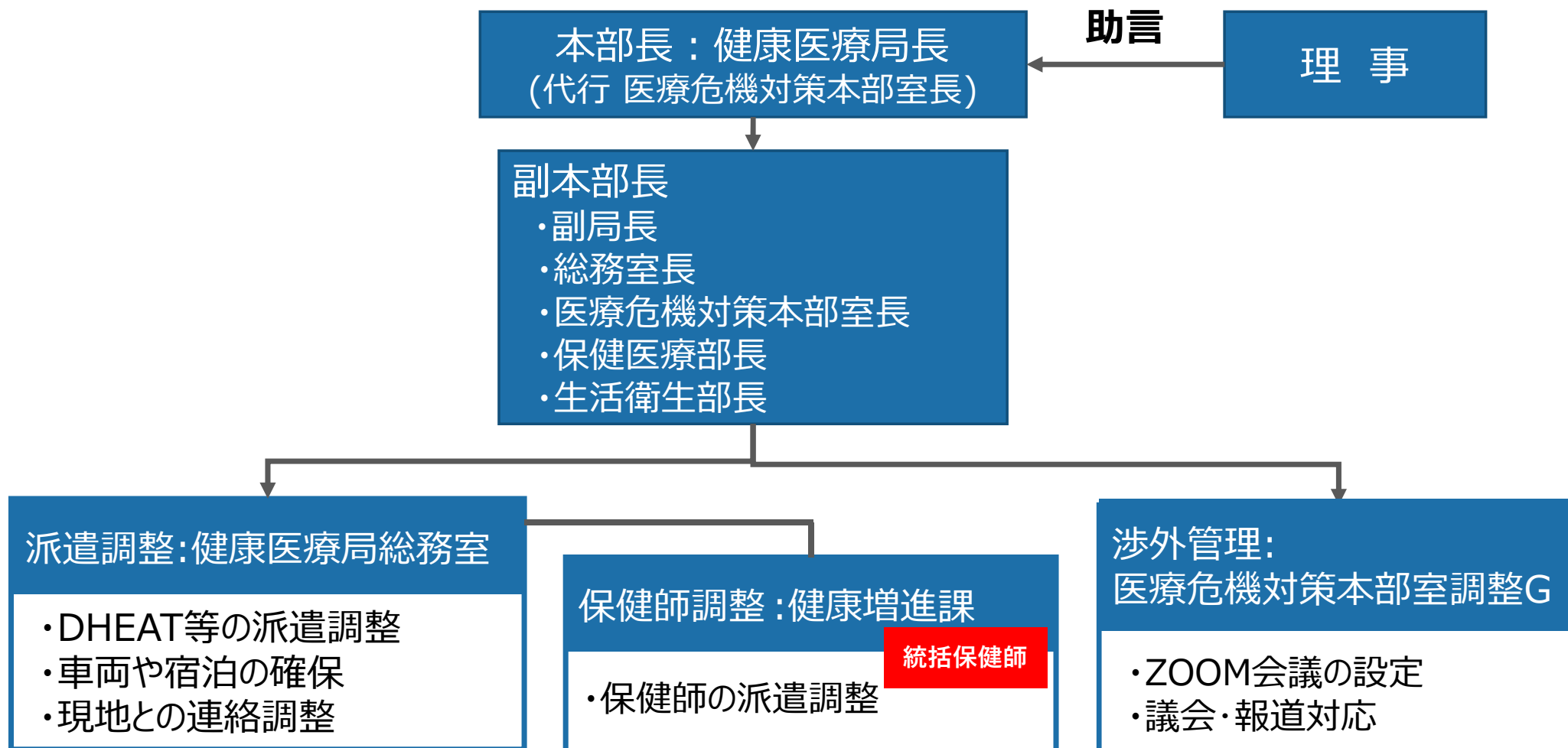
日にち	時間	県／統括保健師の動き
1月4日	10:30	<p>局長打合せ（総務室、健康増進課、医療危機対策本部室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地の様子について、県理事より報告（現地入りしているDMAT情報） これまでの災害応援派遣に比べて過酷な状況。 宿泊は野宿。飲料、食料も持参。自分自身の清潔保持も十分できない（風呂なし） ・ 県としては、DHEAT、保健師派遣を行う。 ・ 保健師派遣については、早急に保健所設置市と打合せが必要。今後の県域市町村の派遣も視野に入れる。 ・ 神奈川県保健医療支援本部を設置（神奈川県保健医療救護計画）
		<p>統括保健師→保健所設置市統括保健師（電話） 11:30から派遣に関する打合せを行う旨を連絡</p>
	11:30	<p>県・保健所設置市会議（オンライン） 横浜市チーム、県及び保健所設置市チームを派遣する旨の回答を決定</p>
	14:20	保健師等派遣調整システム登録
	18:34	<p>総務室→庁内関係部署（庁内メール） 厚生労働省に保健師派遣可と回答した、今後派遣者調整を行う旨を連絡</p>
	18:40	<p>統括保健師→センター所長・地域統括保健師（庁内メール） 厚生労働省に保健師派遣可と回答した、今後派遣者調整を行う旨を連絡</p>

県及び県域市町村混合チームの追加派遣（1月14日～）

日にち	厚生労働省	県／統括保健師の動き
1月14日	厚生労働省⇒都道府県 「（事務連絡）令和6年能登半島地震にかかる保健師等の追加応援派遣可否について」	
1月15日		局長打合せ（総務室、健康増進課、医療危機対策本部室） ・県及び県域市町村混合チームで追加応援派遣にエントリーする
		統括保健師→センター所長・地域統括保健師 （庁内メール） 県及び県域市町村混合チームを追加派遣する方向性を共有
		定例オンラインミーティング 県及び県域市町村混合チームを追加派遣する方向性を共有
1月16日		健康増進課→保健師等派遣調整システム登録
		担当保健師→県域市町村（メール） 能登半島地震における被災者支援のための保健師等の派遣について照会
1月18日		統括保健師→県域市町村統括保健師 （電話） 能登半島地震における被災者支援のための保健師等の派遣について調整
1月18日		令和6年能登半島地震応援派遣に係る市町村説明会 （オンライン）
1月18日		総務室→県域市町村 令和6年能登半島地震被災者支援のための保健師の派遣について（依頼）
1月22日		定例オンラインミーティングに県域市町村も参加可能とする

神奈川県保健医療救護計画に基づく

神奈川県保健医療支援本部の体制



珠洲市概要



○ 基礎データ 人口：12,947人 世帯数：5,901世帯 (R4.12月末時点)

○ 主な被害状況 (R6/1/15 14時時点)

- ・ 総避難者数 : 3,170人
- ・ 死者数 : 99人 うち災害関連死 : 6人



○ ライフラインの状況 (断水) (厚生労働省：4月9日 14:00 現在)

	最大	3月19日	4月9日	復旧率
七尾市	約21,800	約2,500	復旧	100%
輪島市	約11,400	約4,340	約1,660	85.4%
珠洲市	約4,800	約4,430	約4,000	16.7%
能登町	約6,200	約1,670	約420	93.2%
内灘町	約12,000	約150	約70	99.4%

神奈川県保健師チームの主な活動内容

横浜市 県・保健所設置市合同チーム（Aチーム）

- 避難所における健康支援・衛生管理業務
 - ・避難所巡回
 - ・他支援チームとのケース調整
- 在宅における要支援者の健康管理業務
 - ・指定地域の家庭訪問と健康状態の確認
 - ・仮設住宅説明会補助、仮設住宅者の訪問
- 管理栄養士における特定栄養ステーション業務支援

県・県域市町村混合チーム（Bチーム）

- 本部保健師班（石川県）の支援
 - ・珠洲市全体の避難者状況を把握するため台帳作成やデータ入力等の支援
 - ・避難所での相談記録の作成支援
 - ・他自治体保健師チームの報告受理
 - ・ミーティング議事録、避難所スプレッドシート(当日分)の作成等
- 管理栄養士における特定栄養ステーション業務支援

神奈川県保健師チーム派遣人数・自治体数

	神奈川県	県域市町	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市
	29チーム		24チーム	8チーム	6チーム	5チーム	5チーム	3チーム
保健師	44人	24人	48人	16人	12人	10人	15人	6人
管理栄養士	3人	5人						
ロジ	32人		48人	12人	12人	9人	5人	6人



計

80チーム 保健師**175人**（全体**309人**）

30市町 / **33市町村**

定例オンラインミーティング

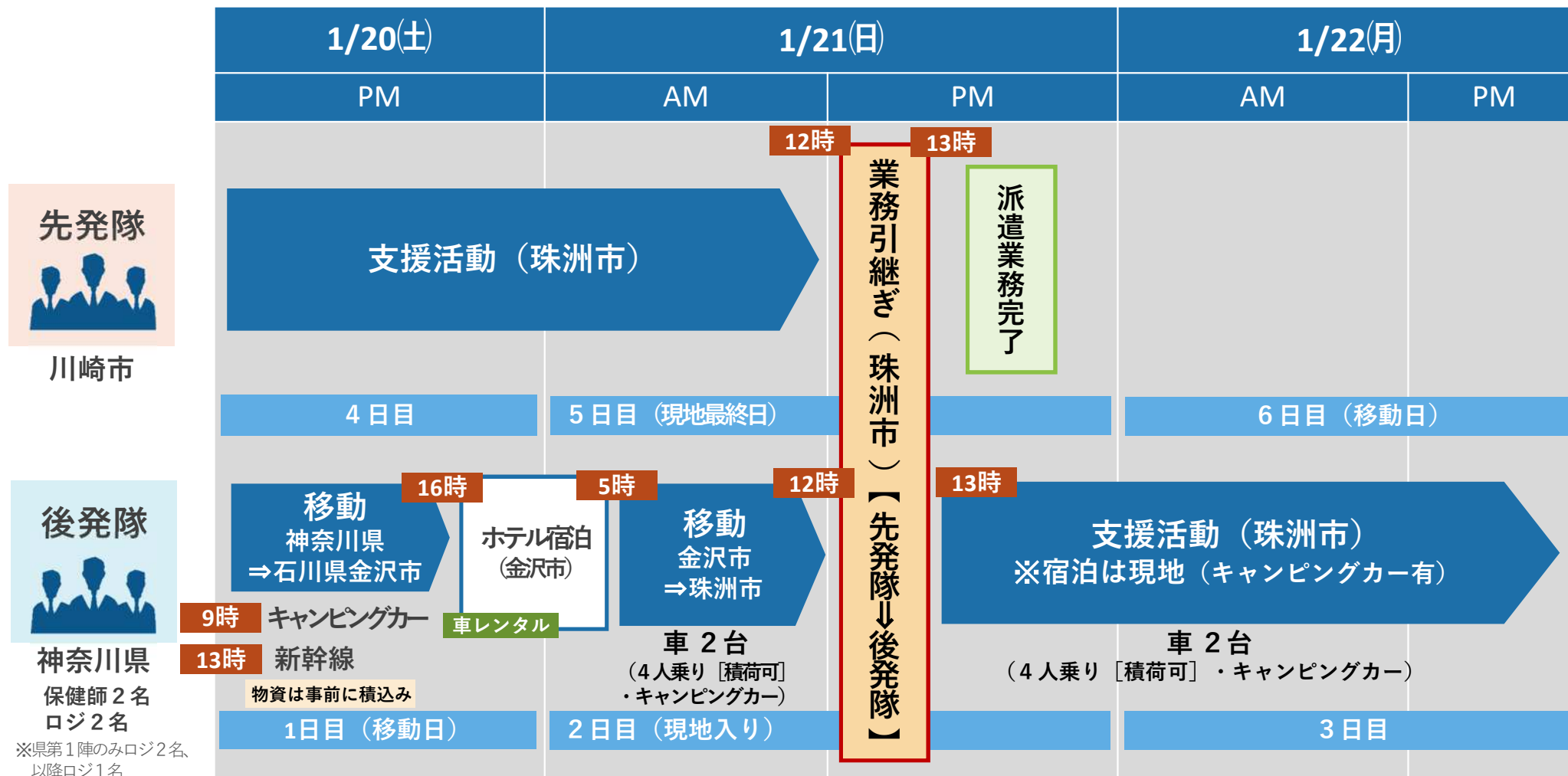
日時／回数／方法	メンバー	内 容
日時：1月4日～5月7日 17時～18時 回数：1月 6回 2月 4回 3月 4回 4月 4回 5月 1回 <hr/> 計 19回 方法：zoomによるオンライン	○神奈川県保健医療支援本部 ○保健福祉事務所・センター ○保健所設置市 ○県域市町村	○現在派遣に行っている自治体からの報告（派遣元自治体、現地派遣者） <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 ・被災地の健康課題 ・ライフライン状況 ・生活状況（天候、気温、道路、服装、宿泊環境、食事、トイレ、お風呂、歯磨き、開店状況等） ・前泊宿から珠洲市までの所要時間の確認 ○引継ぎ日時、場所などの確認 ○オリエンテーション、派遣後のフォローアップ体制等の情報交換 ○質疑応答 ○次回のミーティング日時確認

保健師チーム派遣定例MTG 開催予定（1月）

月	火	水	木	金	土	日
1/8	9 定例MTG (第1陣 (川崎市) ・本部)	10	11 職員派遣 (第2陣 (川崎市))	12	13	14
第1陣 1/6~1/12			第2陣 1/11~1/17			
15 定例MTG (川崎市・本部 ・設置市)	16 職員派遣 (第3陣 (川崎市))	17	18 市町村説明会 定例MTG (川崎市・本部・設置市 ・一般市)	19 県・市町村 出陣式 県・市町村 派遣者才リ 準備内容確認	20 職員派遣 (縣市第1陣) 縣市合同A① 1/20~25 縣市混合B① 1/20~25	21 引継
第2陣 1/11~1/17		第3陣 1/16~1/22				
22 定例MTG (本部・設置市・一般市)	23 職員派遣 (縣市第2陣)	24	25	26 職員派遣 (縣市第3陣)	27	28
縣市合同A① 1/20~1/25 縣市混合B① 1/20~1/25		引継		縣市合同A③ 1/26~1/31 縣市混合B③ 1/26~1/31		
第3陣 1/16~1/22		縣市合同A② 1/23~1/28 縣市混合B② 1/23~1/28				
29 定例MTG (本部・設置市・一般市) 職員派遣(縣市第4陣)	30	31	2/1 定例MTG (本部・設置市・一般市) 職員派遣(縣市第5陣)	2	3	4 職員派遣 (縣市第6陣)
縣市合同A③ 1/26~1/31 縣市混合B③ 1/26~1/31		引継		縣市合同A⑤ 2/1~2/6 縣市混合B⑤ 2/1~2/6		
縣市合同A④ 1/29~2/3 縣市混合B④ 1/29~2/3		引継		相模原2/4~ 縣市混合B⑥ 2/4~		

業務引継ぎマイルストーン（保健師派遣）

県・設置市合同チーム（A）
派遣開始（1/20～）



まとめ「県・市町村合同チーム活動のポイント」

①組織体制の構築と指揮命令系統・役割の明確化

- ・神奈川県保健医療救護計画に基づき、「**県保健医療支援本部**」を設置。健康医療局の**指揮命令系統、役割分担が明確化された。**
- ・また、「**災害時保健師応援派遣マニュアル**」（神奈川県健康医療局 平成31年3月作成）においても、**被災地派遣の調整体制、業務手順、総務室との役割分担が明確化されてる。**

②コロナウイルス感染症対応の経験から、健康危機時における県・市町村連携の成果を実感

- ・ダイヤモンド・プリンセス号での経験を元に、本県は医療提供体制の神奈川モデルを整備し、様々な施策を行った。医療機関と保健所のひっ迫を防ぐために、当初からICTの活用を基盤とし療養者の健康観察、夜間の入院調整等**業務を県で集中化。保健所設置市保健所と密に連携し問題解決してきた。この経験から、連携の成果をお互いに実感した。**
- ・また、保健福祉事務所・センターには、**県域市町村から保健師の応援派遣がされ、ひっ迫するコロナ業務の支援がされた。**

まとめ「県・市町村合同チーム活動のポイント」

③統括保健師の連携

統括保健師の連携は、県・市町村合同チーム活動がスムーズすすめられる一助を担った。そこには、平時からの連携体制が活かされた。また、県の統括保健師はリーダーシップを図ることが重要であった。

平時からの連携

- ・ 県・市町村統括保健師（統括的役割を担う保健師）連絡会
- ・ 共通の課題に対する取組：保健師人材確保（県・市町村合同就職説明会・仕事説明会、神奈川県行政保健師採用情報、保健師修学資金貸付金制度）、人材育成、災害時の対応等

<健康増進課と保健所設置市>

- ・ 「神奈川県内の災害発生時の保健師連絡調整体制」を毎年見直し、災害時の連絡体制、調整窓口（部署、担当者）を確認、共有
- ・ 県・保健所政令市保健師連絡会議

<健康増進課、保健福祉事務所・センターと県域市町村>

- ・ 県主催の階層別研修へ参加。保健福祉事務所・センターは管轄市町村と災害研修を合同開催
- ・ 市町村災害対応マニュアル作成支援
- ・ 保健福祉事務所・センターは、「大規模災害時における県保健師活動マニュアル」に位置付けられている様式に基づいて、管轄市町村の地域概要、避難所設置数（予定）、救護所設置数（予定）、保健師活動マニュアル、要援護者対策等を把握し、健康増進課へ毎年第一四半期中に提出

まとめ「県・市町村合同チーム活動のポイント」

④ 県域市町村の派遣調整

- ・過去の被災地派遣で、県・県域市町村混合チームの派遣経験があった。
- ・「災害時保健師応援派遣マニュアル」（神奈川県健康医療局 平成31年3月作成）に、「適宜、市町村保健師の派遣調整の検討を行う」と明記されてる。
- ・発災後早い時期より、いくつかの県域市町村から派遣希望の連絡があった。

⑤ 定例オンラインミーティングによる情報共有

- ・定例オンラインミーティングは、派遣終了後の振り返りでもとても好評であった。
 - 「派遣先の様子がタイムリーに分かる」「派遣のための物品準備や心構えに大変役立った」
 - 「このミーティングで顔を合わせていることで、ミーティング以外での連携も取りやすかった」
 - 「派遣後もミーティングに参加。派遣後の被災地の様子が分かり派遣経験が深まった」等

⑥ 研修・訓練の成果

- ・令和5年12月に行われた「災害時の保健活動に係るシステム運用に関する訓練」が、県と保健所設置市の役割、業務手順、顔の見える関係性の構築に活かされた。
- ・健康増進課、保健福祉事務所・センターの研修で、被災地の支援活動を想定した研修等を行っており、平常時より保健師の知識、技術、認識を高めていた。



ご清聴ありがとうございました



「神奈川県保健師ナビ」

